

の流れ ～北通り線の完成まで～

2 住民への説明・話し合い

当初、第一路線目として一の沢の区画整理を計画していましたが、地元同意が得られず、中止となりました。



★議会や住民から「都市計画を進めるべき」との意見が上がり、2路線目として、見通しが悪いなどの事情を考慮し、現在の北通り線が計画されました。

□平成10年～「北通り線」地元住民説明会の開始

3 調査

*出された予算に対して、議会が議決します。

□平成12年富士見駅北通り線事業認可
(延長=483m 幅員=16m)
測量設計・物件調査・不動産鑑定
合計 2,514万2千円

4 着工

*出された予算に対して、議会が議決します。

□平成12年～平成18年
・用地取得 5,426㎡
・物件移転補償 12戸
合計 6億8,593万4千円

この間、議会や住民から「本当に進めるべきなのか？」と、疑問の声が上がりました。

しかし、総事業費10億円規模に対し、すでに用地買収などで8億ほどを使っていること、事業を中止すると道路建設のために移転した住民の理解が得られないこと、また国からの支援がある事業については今後の補助金などに影響が出る等の理由から、本工事に進みました。

1 計画

□平成元年 富士見町都市基本計画調査

都市計画道路は、交通施設としての機能の他、良好な居住環境を保つ空間、上下水道・電気・電話などライフラインのための空間、災害時の避難・救援路など、様々な機能を持つ都市計画に沿った道路です。主要交通機関の駅を中心とした環状網の整備は、富士見町都市計画プロジェクト会議において、4年かけて調査・審議されました。駅から歩ける範囲に、役場・病院等の施設が集まり、高齢者や子どもにも優しい町づくりが目指されます。

□平成4年 富士見町都市計画道路11路線決定

住民も参加した審議会で、富士見町全体のまちづくりを考えた都市計画道路の整備が検討され、11路線が決定しました。

〈計画された11路線〉



○—▶ 都市計画道路